

2022年12月作成(初版)

動物用医薬品

指定

貯法 室温保存、遮光した密封容器

局所麻酔剤

承認指令書番号 4動薬第400号

販売開始 2022年12月

劇薬 指定医薬品

# プロカイン注

【成分及び分量】

本品100mL中

有効成分	含量
プロカイン塩酸塩	2.0g
アドレナリン液	1.0mL

【効能又は効果】

牛、馬、犬、猫：局所麻酔

【用法及び用量】

通常、下記の量を局所麻酔薬として皮下又は筋肉内に注射する。

(1) 浸潤麻酔

奏効するだけの量を注射する。

(2) 伝達麻酔

牛、馬：10～20mL

犬、猫：2～5mL

(3) 硬膜外麻酔

牛、馬：10～15mL

広い領域の麻酔を期待する場合は  
25～100mL

犬、猫：0.4mL（プロカイン塩酸塩として  
8mg/kg）以下

【休業期間】

本剤投与後下記の期間は、食用に供する目的で出荷等を行わないこと。

牛、馬：4日 牛乳：24時間

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
- ・本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。
- 牛、馬：4日 牛乳：24時間

(使用者に対する注意)

- ・本剤が皮膚に付着したときは、石けん等でよく洗うこと。

(対象動物に関する注意)

- ・本剤の投与前には健康状態について検査し、使用の可否を決めること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・本剤は小児の手の届かない所に保管すること。
- ・本剤は直射日光、高温及び凍結を避けて保管すること。
- ・開封後は、速やかに使用すること。
- ・外観及び内容物に異常を認めた場合は、使用しないこと。
- ・注射器具は滅菌されたものを使用すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。
- ・針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分量の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(対象動物に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、獣医師の診察を受けること。

(専門的事項)

①対象動物の使用制限等

- ・本剤に対して過敏症等の既往歴のある動物には投与しないこと。

②重要な基本的事項

- ・本剤は、直接血管内の投与は避けること。
- ・本剤は肝障害の疑いのある犬、猫等には大量に使用しないこと。
- ・本剤を注射する場合は、十分に観察をしながら緩徐に行い、異常を認めた場合は直ちに投与を中止し適当な処置を施すこと。

③副作用

- ・本剤は注射時に、ショック様症状、不安、ねむけ、嘔吐（犬）、チアノーゼ、興奮、けいれん等の症状があらわれることがある。
- ・本剤の投与により過敏症状等があらわれた場合は投与を中止し、症状によってバルビタール又はリンゲル液・ブドウ糖液の大量投与、あるいはチオペンタノールナトリウムの静脈注射等の適切な処置を行うこと。

【製品情報お問い合わせ先】

リケンベッツファーマ株式会社

〒332-0011 埼玉県川口市元郷4-1-8

T E L : 048-224-8451 F A X : 048-224-1079

E-mail : riken@r-vets.jp

製造販売業者



リケンベッツファーマ株式会社

埼玉県川口市元郷4-1-8

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

PCI-d2212